

キリストへの時間

「キリストへの時間」協力委員会報

「キリストへの時間」放送開始 70 周年

日本基督教団名古屋教会牧師 田口博之

「キリストへの時間」は、米国南長老教会のラジオ伝道事業として始まりました。第1回放送は、民放第一声をあげた中部日本放送(CBCラジオ)が開局した翌年、1952年10月27日のことでした。ですから、2022年10月は、「キリストへの時間」の放送が始まって70年を迎えることとなります。CBCの当日放送記録によれば、放送時間は8時30分から9時まで、番組名は「キリストへの道」、説教者は米国南長老教会マカルピンとなっています。当初は月一度の放送でしたが、翌年「キリストへの時間」と改称し、毎週15分間の放送となります。説教はマカルピン宣教師が懇意にした日本基督改革派教会と日本基督教団の牧師が担当するようになりました。

日本で100年の歴史を超える教会は珍しくはありませんので、70年続いていると聞いて驚く人は少ないかもしれません。けれども70年といえば、おおよそ3世代です。その間に時代は大きく動きました。放送が開始された1952年といえば、講和条約が発効され戦後が始まった年です。真空管ラジオからトランジスタラジオの時代となり、ラジオは身近なものとなりました。ところが第2世代になると、娯楽の中心はラジオからテレビに移りました。第3世代は、Webメディア、ソーシャルメディアで情報を取得しています。ラジオ伝道の意義がどこまであるのかが問われています。

すでに1975年頃、米国ミッションより協力関係は続けるが、放送の運営を自給独立することが求められました。「キリストへの時間」協力委員会は、「資金提供を前提に始めた事業だから、打ち切ってもよいのではないか」、「しかし、ここまでやってきたラジオ伝道をやめてしまうのは残念」という二つの意見に分かれ

ました。ミッションからの資金援助が途絶えた後も、協力委員会は続けていく努力をしました。最盛期には8局あった放送拠点をCBC1局に絞ることにしました。「キリストへの時間」協力委員会報を発行して広く献金を募ったり、キリスト教学校に協力支援を求めたりしました。ひとえに、ラジオ伝道を神のミッションととらえたからです。その後も財政面での苦労は続きましたが、ピンチのときには大きな助けが与えられました。聖霊なる神が、放送70年の歴史を導いてくださいました。

「キリストへの時間」のこれからですが、今年10月の5回の放送は、放送開始70周年記念として、「キリストへの時間」協力委員会を組織する日本キリスト改革派教会、日本基督教団、金城学院、名古屋学院、岐阜済美学院の代表が、一週ずつ放送を担当することになっています。放送の後枠で、番組の礎となった「アメリカ長老教会」を紹介に加えていましたが、献金自体が途絶えていますので、70周年の放送を機にアナウンスしないことを決定しました。今はRCJメディア・ミニストリーとの協力関係を模索しています。ソリストによる新しい讃美歌も加えられると聞いています。放送をアピールする新しいポスターやWebサイトも計画中のようです。ラジオは今、災害時の強さなど存在意義が見直されてきています。コロナで礼拝に行けない時に、「キリストへの時間で礼拝を守りました」という声が聞こえてきたことは喜びでした。PCやスマホで聴けるradiko(ラジコ)の登場により、番組の聴取者が広がっています。70年を迎える「キリストへの時間」に新たな可能性が生まれていることを感謝しています。

「神様の計画は計り知れず—どうしてクリスチャンになったか」

日本基督教団瀬戸永泉教会教会員 太田信吉

空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができるか。（マタイによる福音書6章26節から27節）

私は愛知国際病院の院長で、日本基督教団瀬戸永泉教会教会員です。愛媛県の四万十川の上流の小さな町で、真言宗の家で生まれました。医療過疎地でしたので医師を志して、長崎大学医学部に合格することができました。その際に、医学部の近くにあるYMCA浦山寮に入寮しました。クリスチャンになる必要性はありませんでしたが、朝早く起きて、当番で聖書を読みお祈りすること、週一回の聖書研究会に出ることが条件でした。ここで初めて聖書を学ぶことになりました。入寮して間もない時に、高校の先輩で、ネパールで結核対策のワーカーとして長年働いておられる尊敬する岩村昇先生がその浦山寮に泊まれ、お話をすることができて感激しました。岩村先生がクリスチャンであることを初めて知りました。その時にネパールの人たちの生活を改善するために水場を作る学生ワークキャンプを行っており、その2回目の募集があることを聞き、これは医学部に入った私にとってアジアのことを知る大きなチャンスだと思ったので早速申し込みました。聖書を学んでいる全国からの9人、私以外はみんな洗礼を受けておられた仲間とともに12月にネパールに旅立ちました。しかしネパールについて5日目、キャンプ地に出発する前のタンセンの街で私はひどい下痢に襲われました。下痢は止まったものの弱った体でみんなと一緒に行動することもできず、一人民家の2階で休んでいました。その時にふとこのまま死んで日本に帰れないかもと不安になりました。幸いネパールの赤ちゃん用のお粥を作っていただいで回復することができました。その時に自分の力ではどうしようもできないことがあり、それを包み込む大きな

力があることを感じることができました。医学部に入ることができ自分の力でなんでもできるように思っていたのが、人の力は弱く頼りないものだと言うことを知ることになりました。それを越えた大きな力を持った方の計画に委ねることで大きな平安が得られました。そして高津良平さん（彼は、その後ネパールで日本基督教団派遣の学校の先生として働きました）彼ともう1人ベトナムで奉仕をされていた看護師の方と3人でネパールアガコーラ村に行き水場作りを手伝いました。毎日当番で祈り、聖書を読み、分かち合いをして過ごしていました。私が当番になった時、ガスや電気もないネパールの自然の中で与えられたのが今日の聖書の箇所でした。空の鳥や野の花は何もしなくても神様がきれいに整えてくださっている、思い煩うことはないと素直に感じることができました。聖書をやっと読み始めた私にとって新鮮な言葉でした。神様の計画は私たちには計り知れません。

それまで人の知恵で読んで理解しようとしていた聖書の言葉が、救いの御言葉として心の中に入ってくるようになりました。そして主イエス・キリストが十字架にかかり流された血はこの小さな私のためでもあったと感じました。この弱く一人では生きられない私を今も支えてくださっている主イエス・キリストの存在を信じ、洗礼を受けてクリスチャンとなったのです。神様は皆様お一人お一人を愛して下さっておられ、それぞれに計画を立てて下さっています。今日の私のお話を聞いて下さっているお一人お一人に神様の恵みが豊かであることを祈ります。



2021年度「キリストへの時間」会計報告

2021年4月1日～2022年3月31日キリストへの
時間. 収支計算書(2021年度)

収入の部	決算	支出の部	決算
日キ教団. 教会献金	278,319	電波料	3,590,400
日キ教団. 個人献金	644,500	会報印刷	136,400
改革派. 教会献金	638,737	会場費	3,000
改革派. 個人献金	236,000	庶務費	2,103
金城学院関係	1,307,000	通信費	61,249
名古屋学院関係	590,000	委員会交通費	4,800
岐阜済美学院関係	309,500	基金へ	400,000
その他. 利息等	0	郵送通知料金	13,640
		郵便振替手数料	26,099
小計	4,004,056	小計	4,237,691
前期繰越	802,195	次期繰越	568,560
合計	4,806,251	合計	4,806,251

「献金者」

■学院関係(複数回献金学院を含みます)

金城学院	名古屋学院	中部学院大学
1,000,000円	200,000円	309,500円
金城学院みどり野会	名古屋学院大学	
300,000円	320,000円	
金城学院高等学校	名古屋中学・高等学校	
7,000円	70,000円	

■日本基督教団(複数回献金教会を含みます)

愛知西地区婦人会連合	名古屋教会	東海教会
熱田教会	名古屋中央教会	日進教会
上野教会	鳴海教会	尾陽教会
岡崎教会	西尾教会	富山鹿島町教会
華陽教会	半田教会	豊橋教会
刈谷教会	南山教会	豊橋教会ひつじの会(婦人部)
御器所教会	金城教会	豊山教会
中京教会	金城教会. 社会福祉委員会	名古屋桜山教会
天白教会	瀬戸永泉教会	名古屋北教会
豊田教会	大台めぐみ教会	

■日本キリスト改革派教会（複数回献金教会を含みます）

中部中会	金沢教会	津島教会	四日市教会
中部中会連合婦人会	岐阜加納教会	豊明教会	春日井教会
中会長老会	岐阜加納教会・婦人会	那加教会	春日井教会・サフラン会
犬山教会	桑名教会	中津川教会	多治見教会姉妹会
犬山教会・姉妹会	静岡教会	名古屋岩の上教会	尾張旭教会姉妹会
犬山教会兄弟会	関キリスト教会	名古屋教会	
恵那キリスト教会	多治見教会	瑞浪伝道所	

■個人献金者（複数回献金者を含みます）

種房正勝・惇子	堀江桂子	児島千香子	田口博之
榊原善夫・有子	本間愛子	篠田 顕	藤沢礼子
足立克己	牧野愛子	篠田聡生	藤條淳子
安達昭子	真木芳子	柴川マリ子	藤條聡美
粟田昌子	町田玲子	柴川久仁子	藤條聡彦
石原頼子	松本勝正	小笠原英一	牧之瀬俊彦
石丸万理子	真野 久	小森純江	毛利義也・山田春日
磯井和子	ミナミガワ タクヤ	小林成隆	木村綾子
岩本ひかり	宮内英夫	松田喜代	木村艶子
榎本久美江	森松民子	新海美智子	木村智恵子
尾内広晃	山岡朱美	新美洋子	鈴木聡杏
大島 隆	伊藤まり子	森前陽子	無名氏
落合建仁	伊藤勝利・トシ江	神村雅子	青山昭一郎
菊池すみ子	伊藤通世	神田輝夫	石井正治郎・牧子
栗原 茂	伊藤敦・八千穂	須田静代	伊藤忠男
小寺英明・正子	井戸美代子	杉原登久子	井上晶子
小林成隆	榎本弘子	足立克己	櫻井弥生
下村徹嗣	遠藤幸代	村上聡恵	竹澤芙美子
下村展子	遠藤芳男	村瀬明子	中根汎信
塚田 昇	横山良樹・ゆずり	大谷京子	西堀則男
塚本千寿	河村輝昭	大塚美七子	長谷川正一
津田康裕	関 光徳	大田弘子	三田村苗美
豊田江美	関 節子	竹内喜保	吉田晃啓
中村寿子	菊池すみ子	竹内治枝	井上義明
成瀬伸子	久野みさき	竹内織江	羽野浩雪・環
野田和子	宮地潤子	中野悦美	石井正治郎
服部治昭	黒木伊津子	長屋仁美	竹沢芙美子
林 滋	山岡朱美	長津 榮	長谷川峯子
樋田紀子	山田紀子	長縄光子	匿名
藤沢準一	山田詩郎・麻衣子	柘植富子	
堀田時男	山田登志子	天沼康司	

種を蒔こう。主は育ててくださる。

～「キリストへの時間」70周年に向けて～

「キリストへの時間」協力委員（レスポンス担当）

山田詩郎

「種を蒔く人は、神の言葉を蒔くのである。・・・
良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて受け入れられる人たちであり、ある者は三十倍、ある者は六十倍、ある者は百倍の実を結ぶのである。」（マルコ4:14、20）

最近、こんなお便りが届きました。

「毎週日曜日、ラジオを拝聴させていただいています。主人の祖母がクリスチャンでした。是非『聖書』をいただきたくよろしくおねがいたします。」

一人の人が聖書の言葉に聴く耳を持つに至る背後に、どれほどの祈りと種まきがあるのだろうかと思われされます。聖霊は私たちキリスト者に働きかけ、祈りと種まきに用いてくださるのです。

お便りをくださったこの方の場合、三代の時を経て、ようやく芽が出たと言えるでしょう。背後にはお祖母さまの祈りがあったのでしょう。当放送をも主が用いてくださいました。

ただ、「礼拝へ足を向けよう」との勇氣は未だお持ちではないようです。しかし、もしこの方の近くにキリスト者のご友人がおられ、礼拝へとお声がけして下さったなら、なお当放送を通して語りかけ続けるなら、聖霊が御言葉とともに働いてくださったなら、その芽は育っていくのではないかと思います。祈るほかありません。

一人ひとりの祈りと働きは小さなものですが、主は、私たちに聖霊による様々な賜物を与え、補い合わせ、一人を「キリストへ」と導くため、用いてくださると信じます。

私自身、高校1年生の時に勇氣を出して教会の主日礼拝に出席するまでに、何年もの時を要し、その背後にいくつもの祈りがあったことを思い起こします。母がキリスト教学校（中・高）の卒業生だったこと。その経験により子どもはキリスト教の幼稚園と決めていたこと（近くのカトリック幼稚園に入れられました）。小学校の低学年の時に友人に誘われ、その幼稚園を運

営する教会のミサに出席したこと。姉が母と同じキリスト教学校に通ったため、学校からの宿題で礼拝に時々行くようになったこと。聖書とキリスト者の書物をいくつか読んだこと。そして、最後に背中を押してくれたのは、ラジオ（FEBC）で語られる牧師や信徒の活きた声でした。母と姉が通った学院、カトリック幼稚園・教会、友人家族、FEBC・・・祈りと種まきがいくつも重なって、ようやく私は日本基督教団長崎古町教会の礼拝へと繋がりました。そして、キリストの救いの恵みに与ることができました。私を「キリストへ」と導くために、聖霊が豊かに働いてくださったのです。主の御名を賛美するほかありません。

さて、「キリストへの時間」は、2022年10月に放送開始70周年を迎えます。「キリストへ」と導くために、当放送はこれまで豊かに用いられてきました。そして、主はこれからも私たちを用いて、ラジオの前で耳を傾けている方をご自分の許へと招こうとしておられると信じます。種から芽が出て育ち、実るまでの動きは地味で目立ちません。「キリストへの時間」も小さな業です。しかし、主はたしかに蒔かれた種を成長させてくださいます。

記念事業として10月の5回の放送を「70周年記念放送」と銘打って放送をします。また、新しいポスターの作成、放送で用いる讃美歌に新しいものを加えることなども予定しています。（記念事業については次号で詳しく報告する予定です）乞うご期待ください。何より、主がこれからも当放送を用いてくださるよう、福音が一人でも多くの人に届くように、そのために私たちを用いてくださるようにと祈ります。以上の祈りを共にしてくださる方は、どうぞこの放送を継続的にお支えくださいますようお願いいたします。

「私は植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。」（Iコリント3:6）

「キリストへの時間」協力委員を退くにあたって

私事となりますが、2022年3月に「キリストへの時間」協力委員を退きました。1999年に就任しましたので、70年の放送の歴史の3分の1をかかわったこととなります。これまで何度も放送を担当しましたが、いつも緊張していました。それでも、放送局の方から「声のマイク乗りはアナウンサー並み」と言われ、妙に嬉しかったことを思い出します。協力委員としては、サップ宣教師の帰国後、十数年にわたって放送のコーディネイトを担当しました。50周年記念コンサートの企画、60周年記念誌の発行も思い出となっています。

委員長を4期8年担いましたが、自転車操業的な財政面での祈りは尽きませんでした。会報に書くわたし

の文章はいつも献金のお願いでした。スポンサーを得るために企画書を作りましたが、費用対効果という言葉で一蹴されたことがありました。支出を切り詰めるため、放送開始以来、車の両輪のように歩んできた代理店との契約を打ち切ったり、放送伝道に付随する文書伝道事業を切り離れたときには涙しました。それでも、3か月分の運転資金を確保するための基金を創設することができてほっとしています。

委員は退いても、年に一度くらいは放送を担当する機会があるかと思います。福音のエッセンスを5分で語るのには私にとっても大切な時間です「キリストへの時間」の放送を通して、皆様と出会うことを楽しみにしています。

田口 博之



「キリストへの時間」放送予定 2022年7月～12月

7月

3日 琴ひかる (名古屋中学・高等学校 聖書科主任)
10日 大藪博康 (名古屋中学・高等学校 宗教部長)
17日 神山美奈子 (名古屋学院大学 商学部 準教授)
24日 黒柳志仁 (名古屋学院大学 国際文化学部 準教授)
31日 高見伊三男 (名古屋学院大学 スポーツ健康学部 教授・宗教部長)

8月

7日 八束清 (日本基督教団御器所教会牧師)
14日 八束清 (日本基督教団御器所教会牧師)
21日 木下喜也 (日本基督教団金城教会牧師)
28日 木下喜也 (日本基督教団金城教会牧師)

9月

4日 吉田崇 (日本キリスト改革派吉原富士見教会牧師)
11日 吉田崇 (日本キリスト改革派吉原富士見教会牧師)
18日 漆崎英之 (日本キリスト改革派金沢教会牧師)
25日 漆崎英之 (日本キリスト改革派金沢教会牧師)

10月 70周年記念放送

2日 日本キリスト改革派教会
9日 日本基督教団
16日 金城学院
23日 名古屋学院
30日 岐阜済美学院

11月

6日 高木総平 (岐阜済美学院 宗教総主事)
13日 高木総平 (岐阜済美学院 宗教総主事)
20日 西島麻里子 (済美高等学校 宗教主事)
27日 西島麻里子 (済美高等学校 宗教主事)

12月

4日 山田詩郎 (日本基督教団名古屋北教会牧師)
11日 山田詩郎 (日本基督教団名古屋北教会牧師)
16日 江連実 (日本基督教団豊田教会牧師)
25日 江連実 (日本基督教団豊田教会牧師)

キリスト教や聖書についてご質問のあるかた、この放送についてのご意見ご感想のあるかたは、以下にお便りください。また、ご希望の方には新約聖書を無料でお送りいたします。

〒461-8691 名古屋東郵便局私書箱170「キリストへの時間」まで

CBC ラジオ「キリストへの時間」(1053kHz) 毎週日曜日 朝6時30分～6時45分放送

郵便振替 00880-1-70404・キリストへの時間